

# 芸術と神秘、郷土史に出逢う 三遠南信の文化施設の数々。

秋も深まり、三遠南信地域の各地が紅葉に染まる季節は、文化・芸術に親しむ季節でもあります。三遠南信地域には芸術性の高い絵画・彫刻・オブジェなどを展示する美術館や希少価値の高い歴史的遺物などを収める博物館、郷土の歴史や文化に触れることができる民俗資料館が数多く点在しています。もみじ狩りとともにちょっと足を延ばして、地域内の文化施設を訪ねてみませんか。県境を越えた新しい発見に出逢えることでしょう。



田原市博物館



「三国志」より 諸葛亮孔明  
(©川本プロダクション/撮影・田村 実)  
(飯田市川本喜八郎人形美術館蔵)



楽器・アート・音楽に出会う「浜松市楽器博物館」

## INFORMATION

第17回三遠南信サミット2009in東三河が開催されます。

11月13日(金)ホテル日航豊橋(豊橋市藤沢町)において「第17回三遠南信サミット2009in東三河」が開催されます。三遠南信サミットは平成5年度より毎年開催され、三遠南信地域の地域住民、大学・研究機関、経済界及び行政が一堂に会し、県境を跨ぐこの地域の一体的な発展について議論してきました。17回目を迎える今年度は、「日本の県境連携モデルの構築～三遠南信地域連携ビジョンの実現に向けて～」をテーマに掲げ、平成20年3月に策定した「三遠南信地域連携ビジョン」の実現について意見を交わします。どなたでも参加できます。問い合わせは、三遠南信地域連携ビジョン推進会議(電話:053-457-2242 浜松市企画部企画課内)まで。

わたしたちは三遠南信地域連携ビジョンの推進に協力しています。



三遠南信(さんえんなんしん)とは、愛知県東三河地域、静岡県遠州地域、長野県南信州地域の総称です。

# 三遠南信 紀行 住

## 戦国時代の合戦の舞台、 遠州地域は新たな創造のステージへ

### 遠州エリア

遠州地域は、戦国時代の主人公であった徳川氏や武田氏、今川氏が合戦を繰り広げた歴史の舞台です。東海道(とうかいどう)の要衝であったことから、古くから「人」や「もの」の東西交流がとて盛んであったことが想像できます。また、塩の道として知られる秋葉街道を通じて、南北の交流も盛んでした。豊かな水と森林資源を背景として、先人たちの努力によって、全国でも類稀なもののつくり産業の集積地としての地盤を築くことができましたが、音楽やものづくり文化など、ものつくり産業から生まれた新たな文化創造もこの地域の新たな特徴となっています。



茅葺屋根の古民家「友田家」/国指定重要文化財(森町)

こうした遠州地域の歴史や文化は、各施設で垣間見ることができ、私たちの気質となつて息づいていることも事実です。文化から産業、産業から文化が生まれる新たな創造のステージへと道は続いていきます。



磐田市新造形創造館/ガラスと金属造形による文化・産業創造の拠点

## 山国の暮らしが育んだ文化と芸術に触れて 紅葉色づく南信州で深まる秋を満喫

### 南信州エリア

南信州は、東西を結ぶ街道、南北を貫く街道により様々な文化が入り込み、山里、街の暮らしとともに多種多様な文化と芸術が育ち、特色ある郷土の歴史が受け継がれてきた地域です。特に城下町の面影を残す飯田市の中心市街地は、南信州の文化と芸術が集まったスポットで、飯田城跡に建ち、伊那谷の美術・自然・歴史・民俗を紹介し、飯田出身の画家・菱田春草の多くの作品が鑑賞できる飯田市美術館をはじめ、柳田國男館や赤門、人形アニメーションの第一人者・川本喜八郎氏が手がけ、NHKの人形劇で使用された三国志の人物などが鑑賞できる飯田市川本喜八郎人形美術館などが建ち並ぶ地域です。他にも南信州の特徴的な施設として、「中央構造線」のほぼ真上に建ち、大断層・地震と地殻変動などのしくみがわかる大鹿村中央構造線博物館や、伊那街道が塩の道として中馬で賑わった江戸時代から昭和初期の町並みを再現し、伊那谷の産業や文化を集積した伊那谷道中などがあります。



大鹿村中央構造線博物館

飯田市の中心市街地は、南信州の文化と芸術が集まったスポットで、飯田城跡に建ち、伊那谷の美術・自然・歴史・民俗を紹介し、飯田出身の画家・菱田春草の多くの作品が鑑賞できる飯田市美術館をはじめ、柳田國男館や赤門、人形アニメーションの第一人者・川本喜八郎氏が手がけ、NHKの人形劇で使用された三国志の人物などが鑑賞できる飯田市川本喜八郎人形美術館などが建ち並ぶ地域です。他にも南信州の特徴的な施設として、「中央構造線」のほぼ真上に建ち、大断層・地震と地殻変動などのしくみがわかる大鹿村中央構造線博物館や、伊那街道が塩の道として中馬で賑わった江戸時代から昭和初期の町並みを再現し、伊那谷の産業や文化を集積した伊那谷道中などがあります。

## 芸術・文化に触れながら 深まる秋のひと時を過ごす 東三河地域の美術館・博物館巡り

### 東三河エリア

秋が深まり芸術・文化を楽しむのに絶好の季節となりました。美術館や博物館を巡り、この地域ゆかりの芸術家の作品を鑑賞するのはいかがでしょうか。色づく銀杏に囲まれた豊橋市美術館では、開館30周年記念「三遠南信交流展」ミュージアムサミット 美の競演」が開催中です。(11月15日まで)。浜松市美術館、浜松市秋野不矩美術館及び飯田市美術館から選りすぐりの作品が集結する美術文化交流展です。また、豊川市桜ヶ丘ミュージアムでは、開館15周年特別記念展「境界なきアート展」響きあう「ココロへ」が開催され、豊川養護学校を卒業された辻勇二さんなどの作品が紹介されます。(11月20日から12月19日まで)。さらに、田原市博物館では、幕末の田原藩家老であり画家としても有名な渡辺華山の作品を鑑賞することができます。その他、設楽町奥三河郷土館を始め、この地域に点在する郷土の資料館もお勧めです。民俗・生活工芸資料を見て当時の人々の暮らしに思いを馳せるのも楽しいのではないのでしょうか。



豊川市桜ヶ丘ミュージアム